

令和7年度

中学校教育課程研究協議会【国語】

美濃・可茂教育事務所

日時 令和7年7月24日（木）13:00～16:00

場所 関市立桜ヶ丘中学校 2年3組教室（美濃）2年2組教室（可茂）

【全体主題】

「指導と評価の一体化」を核とした授業改善・学習改善の在り方

1 日程

13:00～ 13:10 全体説明

13:10～ 14:30 国語科説明①・グループ協議Ⅰ・国語科説明②

14:40～ 16:00 グループ協議Ⅱ・ふりかえり

2 当日の内容及び持ち物について

【グループ協議について】

●グループ協議Ⅰ

- ・身に付けさせたい資質・能力（指導事項）を効果的に育成するために、言語活動をどのように工夫されたか、「主体的に学習に取り組む態度」の指導と評価についてはどのように計画されたかを交流し、資質・能力を育てる単元の指導と評価の計画の在り方について考えます。

●グループ協議Ⅱ

- ・「話すこと・聞くこと」の領域における、評価基準を具現した生徒の姿をどのように設定するかを交流し、生徒の学習改善につなげるための教師の指導の手立て・評価の見取り方について考えます。



3年生の「話すこと・聞くこと領域」「合意形成に向けて話し合おう」の単元で行います。事前に HP（美濃）Plant（可茂）にのせた指導案に、目を通してください。教科書 P.188 にある二次元コードをよみこみ動画視聴しておくと、話し合いの様子がイメージしやすいです。（※当日は、著作権の関係で動画を流すことができません）

●当日の持ち物

- 1 中学校学習指導要領解説（平成29年告示） 国語編
- 2 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（中学校 国語）（国立教育政策研究所教育課程研究センター 令和2年3月）
- 3 3年生 国語教科書（光村図書）
- 4 HP（美濃）Plant（可茂）の掲載資料（指導案・プレゼン資料）
- 5 グループ協議Ⅰで用いる資料10部

自分の実践を説明しやすくするため、テーマに関わる実践について「指導案」、「指導と評価の計画（単元指導計画）」、「教材や実践の様子が分かる写真」などを任意の様式で持参してください。

第3学年 国語科学習指導案

単元名 合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く （第3学年）A話すこと・聞くこと	内容のまとめ 第3学年 〔知識及び技能〕(2)情報の扱い方に関する事項 〔思考力、判断力、表現力等〕「A話すこと・聞くこと」
--	--

1 単元の目標

- (1) 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。
 〔知識及び技能〕(2) ア
- (2) 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。
 〔思考力、判断力、表現力等〕A(1) オ
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。
 「学びに向かう力、人間性等」

2 単元で取り上げる言語活動

「〇〇市の観光客を増やすために、自分たち（中学生）ができること」をグループで議論する活動
 （関連：〔思考力、判断力、表現力等〕A(2) イ）

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア)	① 「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 (A(1)オ)	① 合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。

4 指導と評価の計画

	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
1	1 議題を決める。 ・「観光客数」や「観光地ランキング」から、「〇〇市の観光客を増やすために、自分たち（中学生）ができること」という議題を確かめる。 2 学習のねらいや進め方をつかむ。 ・課題解決のための会議 ・合意形成：全員納得する形で意見を一致させる。 ・提案→会議→振り返り 3 個人のアイデアを出す。 <u>ブレーストーミング</u> 質より量・非難しない・楽しく自由に・最後はまとめる。	・数字を示して、問題意識をもたせる。 ・社会生活や実生活の中で課題解決のための会議をしていくことやその中で合意形成を目指すことの大切さを十分おさえる。 ・ブレーストーミングでは、自由にアイデアを出させる。出たアイデアについて、根拠や意義を考え、説得力のある提案に絞らせる。	

2	1 デジタル教科書の手本動画で「話し合いの仕方」を確かめ、進行計画を立てる。 2 手本の動画をもとに、「話し合いのポイント」をつかむ。 <提案を分類・整理、検討>①② ・共通点で分類し、小見出し。 ・観点を決め、座標軸を使って整理。 ・可視化して、共有（動かしながら）。 <合意形成・まとめ>③④ ・観点を考えながら、取捨選択をして、よりよい案に絞り込む。 ・互いの意見のよいところを組み合わせ、新たに提案する。 3 検討する観点を決め、座標軸をつくる。 ・中学生が行う意義（大・小） ・実現性（高・低） 4 次回の話し合いに向けて、役割分担をする。 ・司会・書記・タイムキーパー	・デジタル教科書の動画を使うことで、話し合いのイメージがもてるようにする。 ・進行計画をまとめ、立ち戻る足場にする。 ① 提案を分類・整理する ② 観点に沿って、提案を検討する ③ 互いの意見を活かして、合意形成をめざす ④ 結論をまとめる ・動画や教科書の「言葉ポケット」を参考にしながら、検討や合意形成のための具体的な話型についても確認しておく。 ・時間があれば、個人の意見の整理の続きや強化をする。	
3 (本時)	1 前時を振り返り、見通しをもつ。 2 課題をつかむ。 3 <u>提案を分類・整理し、検討する話し合いをグループでする。</u> 4 <u>合意形成しながら、まとめる話し合いをグループでする。</u> 5 <u>目的と観点に合わせた結論を出す。</u> 6 本時の学びを振り返る。	・提案が目的や観点に合っているか立ち戻れるようにする。 ・ICT 端末（学習支援ソフト）の座標軸と付箋機能を使って、提案を可視化しながら整理する。 ・話し合いの様子を動画でとり、評価につなげる。	【知識・技能】① <u>話し合いの様子を観察・録画・動画・ノート（ICT 端末）の記述</u> ・座標軸に意見を位置付けながら、提案の根拠に着目して妥当性を吟味したり、複数の発言の共通点を基に抽象化してまとめたりしている。 【思考・判断・表現】① <u>*****</u> ・合意形成に向けて納得できる結論を出すために、<u>進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、考えを広げたり深めたりしている。</u>
4	1 前時を振り返り、見通しをもつ。 2 課題をつかむ。 3 提案を分類・整理し、検討する話し合いをクラスでする。 4 合意形成しながら、まとめる話し合いをクラスでする。 5 目的と観点に合わせた結論を出す。 6 本時の学びを振り返る。	・提案が目的や観点に合っているか立ち戻れるようにする。 ・ICT 端末（学習支援ソフト）の座標軸と付箋機能を使って、提案を可視化しながら整理する。 ・話し合いの様子を動画でとり、評価につなげる。	【主体的に学習に取り組む態度】① <u>交流の様子を観察</u> ・合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
5	1 前時までを振り返り、課題をつかむ。 2 話し合ったことを共有し、感想を伝え合う。 3 合意形成のために必要なことや改善点を伝え合う。 4 合意形成するために、自分が今後大切にしたいと思ったことを挙げる。	・どのような共通点を基に、複数の発言を抽象化したか、自分の言葉でまとめる。 ・互いの意見を生かして合意形成する際に、どのような発言が効果的だったか、確かめる。 ・動画を見返したり示したりして具体的に振り返りや価値づけをする。	

5 本時のねらい

合意形成したグループの結論を出すために、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、考えを広げたり深めたりしている。

6 本時の展開（3/5）

学習活動	指導・援助
1 前時を振り返り、見直しをもつ ・前時に学習した「進行計画」と「話し合いのポイント」を振り返り、本時の課題を確認する。 <目的>〇〇市の観光客を増やすために、自分たち（中学生）ができることを考える <検討する観点：座標軸> ・中学生が行う意義（大・小） ・実現性（高・低） 【話し合いのポイント】 <提案を分類・整理、検討>①② □共通点で分類し、小見出しをつける。 □観点にそって、座標軸を使って整理する。 <合意形成・まとめ>③④ □観点を考えながら、取捨選択をして、よりよい案に絞り込む。 □互いの意見のよいところを組み合わせる新案に提案する。 2 課題をつかむ 進行計画にそって、ポイントを意識して話し合おう。	・前時に学んだ「進行計画」と「話し合いポイント」をまとめた板書の写真を提示する。 ・グループで提案を分類・整理し、検討していく話し合いと合意形成しながらまとめる話し合いを行い、目的と観点に合った結論を出すことが本時のゴールであることを共有する。 ・実際に「総合的な学習の時間」で、活動していくことで、より話し合いの必然性をもたせる。 ・「司会」「記録」「タイムキーパー」の役割分担をし、計画的に話し合いを進める。
演習Ⅲ 4 合意形成しながら、まとめる話し合いをする 5 目的と観点に合わせた結論を出す 〇〇祭りで、ごみ拾いや案内のボランティアをしている中学生の姿を動画で撮って、みんなで作る素敵な祭りをアピールする動画を作成する。市役所の観光課の方にも協力してもらって、市のHPにアップする。	
6 本時の学びを振り返る ○話し合いをしてよかったこと・課題点・よかった人を振り返る ・座標軸を使うと、お互いの意見の位置が分かりやすくて、〇〇さんの意見との共通点を見つけられたので、よかった。みんなで確認しながら、よさを生かしていくことが大切だと分かった。 ・意見がぶつかった時に、□□さんが観点にそって考え直していたのがよかった。いいところ合わせて新たな意見ができた。	・観察していて、よかった人を具体的に価値づける。 【評価規準】 [思・判・表（A(1)才）] 演習Ⅱ

令和7年度教育課程研究協議会

中学校国語科における 指導と評価の一体化を核とした 授業改善・学習改善の在り方

令和7年7月24日（木）

美濃教育事務所
可茂教育事務所

1

令和7年度教育課程研究協議会

時間（目安）	内容
13:10～	国語科説明①
13:25～	協議会Ⅰ（演習含む）
14:00～	国語科説明②
14:40～	協議会Ⅱ（演習含む）
15:50～	まとめ、ふりかえり



2

令和7年度教育課程研究協議会

素敵な姿を紹介します

動画で紹介



3

はじめに



Q1 「評価」をするとき、
何を見直せばよいの??

Q2 「指導と評価の一体化」って、
具体的にはどうすればよいの??



4

学習評価の配慮事項

Q1 「評価」をするとき、
何を見直せばよいの??

学習したことの価値や意義
(成果物・学習過程・意欲)

児童生徒の学習改善
教師の指導改善

必要性、妥当性を見直す



学習指導要領解説【国語】

平成31年1月21日中央教育審議会報告
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

5

学習評価の進め方～何を指導し、何を評価するのか～

「主体的に学習に取り組む態度」って、何で評価していますか?



挙手の回数

ノートの丁寧さ

≠

主体的に学習に取り組む態度

6

学習評価の進め方～何を指導し、何を評価するのか～

【主体的に学習に取り組む態度】の評価規準の設定の仕方について

① 粘り強さ
●積極的に、進んで、粘り強く等

② 自らの学習の調整
●学習の見通しをもって
●学習課題に沿って
●今までの学習を生かして等

③ 他の2観点において重点とする内容
●特に粘り強さを発揮してほしい内容

④ 当該単元の具体的な言語活動
●自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動

例
主体的に学習に取り組む態度
●粘り強く◎論理の展開について考え、◎学習の見通しをもって
●筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。

7

学習評価の進め方～何を指導し、何を評価するのか～

協議会 I (演習 I)

持参した資料をもとに・・・

①「主体的に学習に取り組む態度」をどのように評価していたか

②(今後)どのように評価すればよいのか

8

学習評価の進め方～何を指導し、何を評価するのか～

Q2 「指導と評価の一体化」って、具体的にはどうすればよいの??

目標と指導と評価の関連性

目標

指導

評価

①指導した結果を評価する

②評価した結果を指導に生かす

指導と評価の一体化

R6「指導と評価の一体化」による学習評価の充実・推進事業 実践報告資料より

9

学習評価の進め方～何を指導し、何を評価するのか～

Q2 「指導と評価の一体化」って、具体的にはどうすればよいの??

評価を考えることは、指導を考えること

そのために、①単年で育成すべき資質・能力の明確化

②取り上げた指導事項の具体的な理解

10

評価規準の作成のポイント

Step1 単年で取り上げる指導事項の確認

Step2 単元の目標と言語活動の設定

Step3 単元の評価規準の設定

Step4 単元の指導と評価の計画の決定

Step5 評価の実際と手立ての想定

Step1 育成を目指す資質・能力を明確にする

Step2 目指す資質・能力を育成するために適した言語活動を設定する

Step3 評価規準を設定し、「B」と判断する児童生徒の状況を想定する

Step4 各時間の具体的な学習活動と評価場面を構想する

Step5 教師が実際に言語活動を行い、適切に評価できるか確認すると共に児童生徒への手立てを考える

中学校第2学年
走れメロス
光村図書

11

学習評価の進め方～何を指導し、何を評価するのか～

Step1 育成を目指す資質・能力を明確にする

指導事項

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができる。(2)イ	文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えることができる。(1)ア 登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。(1)イ	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。 ・学習指導要領 ・教科書 ・指導書

12

学習評価の進め方～何を指導し、何を評価するのか～

Step1
育成を目指す資質・能力を明確にする

指導事項
◎登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈すること C(1)イ

ねらい
話の展開や登場人物同士の関わりの中で、登場人物の行動や会話、心情や考えなどを結び付け、どのような意味や変化があるのかを考えるを通して、メロスや王の人物像を捉えることができる。

13

学習評価の進め方～何を指導し、何を評価するのか～

Step2
目指す資質・能力を育成するために適した言語活動を設定する

ポイントは
①目指す資質・能力に合わせて
②目の前の児童生徒の実態

言語活動

14

学習評価の進め方～何を指導し、何を評価するのか～

Step2
目指す資質・能力を育成するために適した言語活動を設定する

指導事項
◎登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈すること C(1)イ

指導事項に照らした
実態把握

言語活動例
自分の選んだ観点で、作品の魅力を語り合う

15

学習評価の進め方～何を指導し、何を評価するのか～

中学校第2学年「読むこと」の学習
〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)イ「精査・解釈」

登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈すること C(1)イ

単元(学習内容)	言語活動	教科書に示されている目標 (光村図書「国語2」より)
ヒューマノイド	自分の解釈を語り合う	登場人物の言動の意味を考え、自分の解釈を語り合う
走れメロス	自分が感じた作品の魅力を語り合う	観点を選んで分析し、自分が感じた作品の魅力を伝え合う

16

学習評価の進め方～何を指導し、何を評価するのか～

Step3 評価規準を設定し、「B」と判断する児童生徒の状況を想定する

知識及び技能等	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。〔2)イ〕	文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えることができる。〔1)ア〕	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。〔1)ア〕

「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。〔1)イ〕

積極的に登場人物の言動の意味などについて考え、学習課題に沿って考えたことを語り合おうとしている。

17

学習評価の進め方～何を指導し、何を評価するのか～

Step3
評価規準を設定し、「B」と判断する児童生徒の状況を想定する

評価規準
登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈すること C(1)イ〔思考力、判断力、表現力等〕

具体的に想定(おおむね満足できる状況(B))
話の展開や登場人物同士の関わりの中で、登場人物の行動や会話、心情や考えなどを結び付け、どのような意味や変化があるのかを考え、メロスや王の人物像を捉えている。

18

学習評価の進め方～何を指導し、何を評価するのか～

Step4 各時間の具体的な学習活動と評価場面を構想する

	指導	評価
学習活動	指導上の留意点	評価内容・評価方法
5	メロスだけにならないように声をかける。 以前の考え方、変わった理由、終わりの場面での三段落構成でその人物の視点で書くよう声をかける。	【思・判・表】 話の展開や登場人物同士の関わりの中で、登場人物の行動や会話、心情や考えなどを結び付け、どのような意味や変化があるのかを考えて、メロスや王の人物像を捉えている。 ノート記述

どの時間に、何を評価するのか

何ができればよいのか

何で評価するのか

19

学習評価の進め方～何を指導し、何を評価するのか～

Step5 教師が実際に言語活動を行い、適切に評価できるか確認すると共に児童生徒への手立てを考える

指導と評価の一体化

シミュレーションが大事！

20

学習評価の進め方～何を指導し、何を評価するのか～

Step5

◆「おおむね満足できる」(B)
話の展開において、登場人物の行動や会話、心情や考えなどを結び付け、どのような意味や変化があるのかを考えて、メロスや王の人物像を捉えている。

◆「努力を要する」(C)
【手立て】
・人物の言動を表す表現の変化を一緒に探す。
・変化のきっかけになった出来事について聞く。

指導と評価の一体化

21

学習評価の進め方～何を指導し、何を評価するのか～

目標の実現のために、指導した結果を評価し、評価した結果を指導に生かす

目標と指導と評価の関連性

目標
単元で身に付ける資質・能力を明確にする。
→目指す児童生徒の姿を具体的に描く。

指導
資質・能力が身に付くよう、児童生徒の実態に応じて指導する。

評価
具体的な児童生徒の姿で、資質・能力が身に付いたか評価する。

指導と評価の一体化

Step 1

Step 2・5

Step 3・4

R6「指導と評価の一体化」による学習評価の充実・推進事業 実践報告資料より

22

学習評価の進め方～何を指導し、何を評価するのか～

動画で紹介

動画で紹介

23

令和7年度教育課程研究協議会

休憩・・・

24



協議会Ⅱ（演習Ⅱ）

第3学年 国際科学習指導書

1. 協会の目的

（1） 協会の目的は、協会の目的を達成するために必要な事項を定めることにある。

（2） 協会の目的は、協会の目的を達成するために必要な事項を定めることにある。

（3） 協会の目的は、協会の目的を達成するために必要な事項を定めることにある。

2. 協会の目的

（1） 協会の目的は、協会の目的を達成するために必要な事項を定めることにある。

（2） 協会の目的は、協会の目的を達成するために必要な事項を定めることにある。

（3） 協会の目的は、協会の目的を達成するために必要な事項を定めることにある。

3. 協会の目的

（1） 協会の目的は、協会の目的を達成するために必要な事項を定めることにある。

（2） 協会の目的は、協会の目的を達成するために必要な事項を定めることにある。

（3） 協会の目的は、協会の目的を達成するために必要な事項を定めることにある。

4. 協会の目的

（1） 協会の目的は、協会の目的を達成するために必要な事項を定めることにある。

（2） 協会の目的は、協会の目的を達成するために必要な事項を定めることにある。

（3） 協会の目的は、協会の目的を達成するために必要な事項を定めることにある。

25



協議会Ⅱ（演習Ⅱ）

5 本時のねらい

合意形成したグループの結論を出すために、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、考えを広げたり深めたりしている。

【評価規準】

〔思・判・表（A(1)オ）〕

演習Ⅱ

中学校第3学年 【話すこと・聞くこと】「合意形成に向けて話し合おう」

26



協議会Ⅱ（演習Ⅱ）

単元の目標をもとに、①～③の具体を記入してみましょう。

単元の目標
 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすること



①何を評価するのか	
②何ができていればよいのか	
③何で評価するのか	

中学校第3学年 【話すこと・聞くこと】「合意形成に向けて話し合おう」

27

[illegible]

28



協議会Ⅱ（演習Ⅲ）

①分類・整理し、意義や実現性を検討しましょう。

私はYoutube

ごみ拾いボランティア

祭りのポスター

英語で道案内・町紹介

➔

さらに具体的にした子どもの姿（学習活動）

中学校第3学年【話すこと・聞くこと】「合意形成に向けて話し合おう」

29

協議会Ⅱ（演習Ⅲ）



**②取捨選択や互いの発言のよさを組み合わせ
話し合いをまとめましょう。**




さらに具体的にした子どもの姿（学習活動）

中学校第3学年【話すこと・聞くこと】「合意形成に向けて話し合う」

30

協議会Ⅱ（演習Ⅲ）

③具体的にした子どもの姿に迫る手立てを考えてください。

さらに具体にした子どもの姿（学習活動）	さらに引き上げる手立て（指導・援助）

中学校第3学年【話すこと・聞くこと】「合意形成に向けて話し合おう」



31

Q1 「評価」をするとき、
何を見直せばよいの??

Q2 「指導と評価の一体化」って、
具体的にはどうすればよいの??



32

諸連絡（中学校）

下記URLもしくは二次元コードから
事後アンケートにお答えください。

<https://logoform.jp/form/T8mB/1128084>

ご回答いただいた方から終了となります。
ありがとうございました。



33